



お元気ですか

志村 たかよし です

ついに 全会一致 で採択

首都高速「晴海線」計画の見直しを求める意見書



高速晴海線が計画されている晴海大橋

第4回定例会最終日の12月6日、石原都知事あての「首都高速晴海線計画（*）の見直しを求める意見書」を全会派一致で採択しました。

（*）首都高速晴海線：93年7月に「江東区有明く築地」間が都市計画決定され、現在「有明く豊洲出入口」まで完成している高速道路です。

「意見書」は、

●「豊洲く晴海」間の工事は中止すること。

●地下部分の「晴海く築地」間は、実現の可能性が低いので、都市計

画の見直しを行うこと。

を求めています。



住民団体が03年に区議会請願

今回の意見書の発端は、7年前にさかのぼります。

03年の区議会に、私（志村）が事務局長をしている「臨海部問題・中央区の会（菅野きよ子会長）」が、「首都高速晴海線建設と『晴海仮出入口』設置の中止を求める請願」を区議会に提出しました。

請願は「通過交通量を大幅に増やし、大気汚染、振動、騒音など交通公害をいっそう拡大する首都高速晴海線と『晴海仮出入口』設置の中止を関係機関に働きかける」ことを求めています。

この時、請願の紹介議員になったのは日本共産党だけで、請願は07年4月に審議未了とされ、不採択となりました。

くり返し都議会などに陳情

「中央区の会」は、その後も、都議会各会派への申し入れ（08年10月）、都知事と（株）首都高への申し入れ（08年11月）、都議会への陳情書提出（09年11月）など「豊洲く晴海」間の計画中止をくり返し求め、他の団体とも連携して活動してきました。



計画中止へさらに世論と運動を

ねばりづよいとりくみのなかで、区議会で最大会派の自民党もこの問題をとり上げて、区の対応や姿勢を質すようになりました。

地道な運動が、ついに区議会各会派を動かし、「全会一致」での意見書採択となったのです。

「計画中止」実現へ、さらなる世論と運動の広がりが必要です。

一致団結して、この無駄な道路計画を中止させましょう！

大雨被害うけた青果仲卸施設を視察・調査



以前から雨漏り対策で都が設置していたトイレ

「お元気ですか 第522号」
でご報告した大雨の被害を受けた
築地市場青果仲卸を、12月14日、
日本共産党の清水ひで子都議とと
もに視察しました。

都側は高木築地市場長、青柳施設課長、小峰設備課長が立ち合いました。

雨漏り・冠水は施設の欠陥

聞き取りの中で、お店の人たちから「この建物ができた時から雨



お店の人（右）は、怒りを込めて説明

漏り、冠水があった」と怒りをこめた説明がありました。

私（志村）は、市場ではたらいていた頃の経験も示して「大雨による雨漏りや冠水の被害は施設の欠陥である」と指摘。都側は反論できませんでした。

停電は変電施設の欠陥

青果仲卸棟の屋上にある変電施設も検証しました。

4時間も停電を起こした原因は、



変電施設も調査しました。

この変電室の窓から雨が吹き込み、むき出しの変電器に水がかかったためでした。

これも、老朽化のせいではなく、設備管理の問題だったのです。



金網の中に「むき出し」の変電器が…

都議会で緊急補修を要求

この視察を受け、15日の都議会本会議で、日本共産党の古館和憲都議は、知事が老朽化を移転理由にしていることについて、「雨漏りや冠水を何度も繰り返してきたにもかかわらず、根本的な対策を怠ってきた知事にこそ責任がある」と指摘し、緊急補修、補強対策と耐震改修を進めるよう求めました。

石原都知事が、管理責任者としての責任を棚に上げ、「幸か不幸か…」「天の声…」と言って築地市場「移転」を促進させようというのですから「盗人猛々しい」と言われても過言ではないでしょう。

日本の農水産物流通を狙う財界と米国の強力な要求にそって、石原都知事は、なりふり構わず「豊洲新市場建設」を進めようとしています。

なんとしても阻止しましょう！

「意見、ご要望など、お気軽にご連絡ください(03-5366-6606)」